

# 避難所体験学習(小学校)

## 避難訓練

小学校(1学年~6学年)

1 題材名 学校を避難所として想定した避難訓練

2 ねらい

災害時を想定し、避難所体験や児童の発達の段階に合わせた様々な災害体験をすることを通して、防災意識を高めさせる。

3 訓練の実際

【想定】

◆学校が避難所となったときの避難行動

	時間の推移	児童の動き	◎支援・留意点 ■評価
事前指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「防災ノート」を活用した学級指導(大雨、洪水による避難を想定)</li> <li>○講師による講話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○VTRにより、被害の大きさを知る。</li> <li>○「防災ノート」に風水害から身を守るために大切な事項を記入する。</li> <li>○講師の話聞いて、災害時の正しい行動を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎児童に恐怖心を与えるのではなく、正しく行動する方法を伝える。</li> <li>■「防災ノート」に風水害から身を守るために大切な事項を記入している。</li> </ul>
避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難開始</li> <li>○体験開始                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンホールトイレ</li> <li>・消火訓練</li> <li>・煙体験</li> <li>・起震車体験</li> <li>・包帯法</li> <li>・疑似避難所の設置</li> <li>・アルファ米炊出し</li> <li>・AED講習(第6学年)</li> </ul>                             (第5学年児童は、各体験コーナーで、補助・支援活動を実施する。)                         </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師の話聞き、これからの行動の仕方を知る。(「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」の約束)</li> <li>○担任の誘導により、第1学年~第4学年が、各コーナーで体験する。</li> <li>○第6学年は、AED講習のみ実施し、その操作方法を習得する。(講習免許の発行)</li> <li>○第5学年は、各体験コーナーの担当を割り振る。各コーナーの設営準備から関わり、体験する下学年への支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「お」、「か」、「し」、「も」の約束を確認する。</li> <li>◎体験の内容によって不安を感じている児童には、補助を付けたり、見学にするなどの配慮を行う。</li> <li>◎第5学年には、担当するコーナーの簡単な説明が行えるよう、事前指導する。</li> <li>■それぞれの体験コーナーの意味を理解しながら、真剣に体験している。</li> </ul>



煙体験



起震車体験



疑似避難所体験



アルファ米炊き出し体験

事後指導

【各学級】  
○翌日、避難訓練を振り返り、児童同士で気付いたことなどを話し合う。

◎体験した各コーナーを振り返り、注意すべき大切な事項を確認し、次年度に生かす。  
◎第5年生の活躍を称賛し、次年度最高学年となる自覚を高める。

学校における  
安全教育  
必ず指導する  
基本的事項

計画  
実行  
評価  
改善

幼稚園

小学校

中学校

高等学校

特別支援学校

生活安全

交通安全

災害安全

避難訓練

参考資料

関連する法規等  
学習指導要領等